

<b>科目名：病態と治療論Ⅱ</b> ( Internal Medicine Ⅱ ) 履修年次/時期：1 年次 後期                      授業形態：講義 担当教員： 中村仁志 (実務経験有)		必	1 単位 (45 時間)
学修目的	臨床における外科的治療を要する主要な疾患の特性 (病態、症状、診断、治療) を学ぶ。疾病から外科的治療を経て回復に至る過程や疾病による身体・精神的変化について理解する。 CP2, 3 に関連する。 科目 No.KSI-119		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	①外科的治療の特徴と必要性が理解できる。 ②外科的治療に関連した処置等が理解できる。 ③外科的治療に必要な検査と疾患の関連が理解できる。 ④外科的治療後のリハビリテーションの必要性が理解できる。		
授業概要	疾患の原因/症状/診断/検査/治療を学ぶ。外科的治療総論/検査/リハビリテーション医学を学ぶ。 臨床判断能力を大切に観察、アセスメント、看護に活かせる思考の連続性を意識して学ぶ。		
評価方法	後期定期試験 100% 試験に対するフィードバックは翌年の成人臨床看護Ⅱの中で行う。		
予習・復習時間	【予習】 1.9 時間 【復習】 1.9 時間		
教科書	a.系統看護学講座 臨床外科看護総論 医学書院 b.系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院 c.系統看護学講座 基礎看護学 (4) 臨床看護学総論 医学書院		
参考書	必要時、紹介する		

お問い合わせ- 連絡先	中村仁志 授業終了後～18:00 3号館3階研究室 h.nakamura@kdu.ac.jp

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 ( / )	外科的治療の特徴と変遷 ①外科的治療の特徴が理解できる。 ②手術と手術による侵襲の関連が理解できる。 ③手術侵襲と生体の反応が理解できる。	[予習]教科書 a.P6~10 の C 外科看護の流れと看護の要点を読んでおく。 [復習]授業内容を整理し、理解を深める。 [キーワード]手術、ICU、サイトカイン	講義 ○中村
2 ( / )	手術後の回復過程 ①手術と炎症・感染症・創傷治癒の関連が理解できる。  外科的治療の適応 ①腫瘍の外科的治療の必要性が理解できる。 ②外傷・熱傷とショックの外科的治療の必要性が理解できる。	[予習]教科書 b.P19~20 の④手術侵襲の評価を読んでおく。 [復習]授業内容を整理し、理解を深める。 [キーワード]発赤・熱感・腫脹、防御反応、手術部位感染 (SSI)、感染対策チーム (ICT)、マクロファージ、ドレッシング法、褥瘡	講義 ○中村
3 ( / )	外科的治療を支える分野 ①麻酔法の基本的知識が理解できる。 ②呼吸管理の基本的知識が理解できる。 ③体液管理の基本的知識が理解できる。 ④栄養管理の基本的知識が理解できる。 ⑤輸液療法の基本的知識が理解できる。	[予習]教科書 a.P76~77②の麻酔の種類を読んでおく。 [復習]授業内容を整理し理解を深める。 [キーワード]麻酔前投薬、経口接種制限、硬膜外麻酔、機械的人口換気、中心静脈栄養法	講義 ○中村
4 ( / )	外科的基本手技 ①切開の基本的知識が理解できる。 ②縫合の基本的知識が理解できる。 ③抜糸の基本的知識が理解できる。 ④止血の基本的知識が理解できる。 ⑤胃管の挿入の基本的知識が理解できる。 ⑥体腔穿刺の基本的知識が理解できる。	[予習]教科書 a.P144~153 の A 外科的基本手技を読んでおく。 [復習]授業内容を整理し理解を深める。 [キーワード]マチュー型持針器・ヘガール型持針器、結紮止血、穿刺とドレナージ、	講義 ○中村
5 ( / )	低侵襲手術と日帰り手術 ①管腔内視鏡治療の基本的知識が理解できる。 ②体腔内視鏡治療の基本的知識が理解できる。 ③X線透視下血管内治療 ④臓器移植の基本的知識が理解できる。 ⑤日帰り手術の基本的知識が理解できる。	[予習]教科書 a.P161 の低侵襲手術を読んでおく。 [復習]授業内容を整理し理解を深める。 [キーワード]腹腔鏡下手術、セルディンガー法	講義 ○中村

6 ( / )	<p>救急処置法・緩和医療・インフォームドコンセント</p> <p>①救急処置の範囲と対象が理解できる。</p> <p>②救急処置法の原則と実際が理解できる。</p> <p>③外科的医療と緩和医療の関連が理解できる。</p> <p>⑤外科的医療におけるインフォームドコンセントの必要性が理解できる。</p>	<p>[予習]教科書 a.P184～192 のA 救急処置法の実際を読んでおく。</p> <p>[復習]授業内容を整理し理解を深める。課題に取り組む。</p> <p>[キーワード]CPA、CPR、BLS、ACLS、QOL 維持、インフォームドコンセント</p>	<p>講義</p> <p>○中村</p>
7 ( / )	<p>外科的医療と臨床検査</p> <p>①外科的治療と検体検査の関連が理解できる。</p> <p>②外科的治療と病理学的検査の関連が理解できる。</p> <p>③外科的治療と生体検査の関連が理解できる。</p>	<p>[予習]教科書 b.P7～9のB 臨床検査の種類を読んでおく。</p> <p>[復習]授業内容を整理し理解を深める。</p> <p>[キーワード]術前検査、術中検査、術後検査、髄液検査、赤血球、白血球、血小板、赤血球沈降速度、血糖、バイオプシー、心電図、呼吸機能検査、超音波検査、MRI、内視鏡検査</p>	<p>講義</p> <p>○中村</p>
8 ( / )	<p>外科的医療とリハビリテーション</p> <p>①手術前のリハビリテーションの必要性が理解できる。</p> <p>②手術後のリハビリテーションの必要性が理解できる。</p> <p>③回復過程のリハビリテーションの基本的知識が理解できる。</p>	<p>[予習]教科書 c.P101～110 の①リハビリテーション期の特徴を読んでおく。</p> <p>[復習]授業内容を整理し理解を深める。</p> <p>[キーワード]術前体力回復、術後の機能回復、失われた機能の補完</p>	<p>講義</p> <p>○中村</p>